

明治 150 年記念トークショー

女性たちが語る愛媛県出身の三人の偉人たち

水野広徳×重見周吉×和田重次郎



開催日:2018年10月13日(土) 正午~午後1時
場所:坂の上の雲ミュージアム2階ホール

入場料無料
先着順



水野広徳



重見周吉



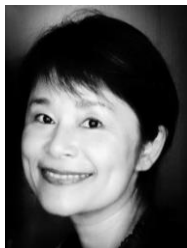
和田重次郎

明治8年5月24日松山市三津浜に生まれる。親が死去し、一家離散、叔父笹井家に預けられる。明治22年海兵学校に入学。明治38年海軍大尉として、日本海海戦に参加。明治44年「此一戦」を執筆、ベストセラーとなる。大正8年海軍大佐となるものの、第一次世界大戦後のヨーロッパを視察し、戦争の悲惨さを痛感し、人道的平和主義者へと変わる。大正10年に軍を退役し、社会評論家として反戦平和を訴える。

慶応元年越智郡今治町大字本町131番戸(現在の今治市本町4丁目)に生まれる。明治17年渡米。コネチカット州ニューヘイブンに私費留学。1885年(明治18年)イェール大学に入学。1889年(明治22年)今治の生活風土を描いた「日本少年」を発売。1891年(明治24年)医学博士号を取得後、帰国し、慈恵医院医学校の教授となる。1893年(明治26年)学習院教授に夏目漱石を退けて採用される。

明治8年 愛媛県小松町(現西条市)で生まれる。重次郎四歳の時に父源八が亡くなったため、母の親戚のいる松山市日の出町に移る。17歳の時にアメリカに密航する。「犬ぞり使いの神様」と呼ばれ、原住民さえ踏み込めなかった北極圏を犬ぞりで探検、多くの金鉱と油田を発掘するなど開拓者として活躍する。母セツには、いたわりの手紙と送金を絶やさず、終生孝養を尽した。

パネリスト



榎原美樹
NHK ワールドエグゼク
ティブプロデューサー



戒田節子
みかん一座座長



菅 紀子
NPO 法人アイム
まつやま理事長

司会



田中和彦
和田重次郎顕彰会会長

この模様は、南海放送ラジオにて生放送します!

「三人の偉人展」を坂の上の雲ミュージアム2階ホールにて同時開催(10/13~11/9)

主催 NPO 法人和田重次郎顕彰会 共催 南海放送 愛媛新聞社 愛媛 CATV NPO 法人アイムまつやま
後援 愛媛県 愛媛県教育委員会 松山市 松山市教育委員会 今治市 今治市教育委員会 NHK 松山放送局 朝日新聞松山総局
毎日新聞松山支局 産経新聞松山支局 テレビ愛媛 あいテレビ 愛媛朝日テレビ FM 愛媛

「坂の上の雲」フィールドミュージアム活動支援事業助成事業

(問い合わせ先 和田重次郎顕彰会事務局 ファクス 089-924-8286 メール ueoka@sgr.e-catv.ne.jp)

スポンサー広告

西暦	元号	水野広徳	重見周吉	和田重次郎
1865	慶応元年		越智郡今治町大字本町 131 番戸(現在の今治市本町 4 丁目)に生まれる	
1875	明治8年	温泉郡三津浜(現在の松山市三津)に生まれる		愛媛県小松町(現西条市)に生まれる
1879	明治 12 年	母死去		父源八が死去、松山市日の出町に移る
1881	明治 14 年	父死去。笹井の叔父(母の兄)に預けられる		
1884	明治 17 年		渡米、コネチカット州ニューヘイヴンへ私費留学	
1885	明治 18 年		ヒルハウス高等中学を経てイエール大学理学部(Sheffield Scientific School, 通称 SSS)に入学	
1886	明治 19 年			母セツの親戚の戸田製紙で働く
1888	明治 21 年		学部を卒業、イエール大学医学部へ進学	
1889	明治 22 年		『日本少年』をニューヘイヴンのシェルドン社から出版	
1891	明治 24 年		医学部を卒業、医学博士号を得て帰国 慈恵医院医学校設立時より 3 年間教授	三津浜を出奔、神戸へ出て働く
1892	明治 25 年		医師開業免許を取得、重見医院を開業	アメリカに密航、サンフランシスコに上陸後、捕鯨船「バラエナ号」に乗り北氷洋で働く
1893	明治 26 年	落第を機に中学校を退学	学習院教授に採用、叙高等官七等	
1894	明治 27 年	復学した後江田島海軍兵学校に入学	学習院輔仁会雑誌第 29 号に英文童話、第 29 号に短歌を寄稿	
1896	明治 29 年		学習院輔仁会雑誌第 44 号に短歌を寄稿	秋、日本に一時帰国、母に孝養を尽くす
1897	明治 30 年			再びアラスカに行き、ポイントパロー沖でニューポート号を救援する
1903	明治 36 年	水雷艇長に任命される		フェアバンクスでの金鉱発掘を大きく報じられ、「タナナ・スタンピード」が起きる。その後、北極海沿岸を探検
1904	明治 37 年	日露戦争開戦。『船影』『此一戦』は世界各国の多言語に翻訳されベストセラーとなる		
1905	明治 38 年		非職満期で学習院を去る	
1906	明治 39 年			三つのエスキモーの村を統括するキングになる
1907	明治 40 年			ノーム50マイル(80キロ)屋内マラソンで連続優勝する。
1908	明治 41 年			ドウソンから5,000マイル(8,000キロ)に及ぶ北極海沿岸を犬ぞりで探検し、新聞で大きく報じられる
1909	明治 42 年			スワードからアイディタロット山までの道を開拓する。現在の犬ぞりレースアイディタロットのコースである
1914	大正3年	第一次世界大戦が開戦。戦争を見るため欧州私費留学を申し出実行する		「ワダ・スパイ説」が取りざたされ、しばらく行方不明となる
1918	大正7年	休戦条約締結。敗戦国ドイツを見るため、再度私費留学をする		
1920	大正9年			カナダ政府の油田調査員となり、北極圏からマッケンジー河全流域を探検
1921	大正 10 年	剣を永久に手放すため退役し反戦思想家となる		
1924	大正 13 年	国防に着手した宇垣一成陸相に賛成し軍部を批判する	イエール大学同窓会から寄付金の送金を受ける 日本橋に帰り医院を再開する	
1928	昭和2年		死去(63歳)。青山霊園に墓を建立	
1933	昭和8年			母セツ、松山市日の出町で死去
1937	昭和 12 年			サンディエゴ郡病院で死去 (62歳)
1943	昭和 18 年	愛媛県越智郡津倉町に疎開する		
1945	昭和 20 年	腸閉塞により大島から今治へ搬送舟上で死去(70歳)		

